

平成30年度 一橋大学大学院経済学研究科

修士課程学生募集要項

一橋大学大学院経済学研究科がめざすのは、専門的な知識と分析能力を備えた研究者・実務家を数多く育てていくことです。このために学生は、大学院でスキルを磨き専門知識を獲得する必要があります。当研究科に入学を志す学生は、それまでに受けてきた教育、それによって培われた素養、本人の問題関心などの点で、様々な状況にあります。このことを前提としたうえで、前記の目的を果たすため、当研究科では、各分野のコア科目を中心として、積み上げ方式のコースワークに基づいた教育システムを採用しています。学生諸君には、入学後、自分にあったコースを見つけて、基礎から高度な専門的レベルに至るまで、体系的な学習と訓練を受けていただくことになります。入学試験受験者に要求されるのは、したがって、ある領域に特化した専門的知識をもつことよりも、幅広い常識と、高い学習意欲・能力を備えていることです。優秀な教授陣を擁し、世界的に見てもトップクラスにあると自負する私たちのプログラムに、積極的に参加する姿勢を持つことが、なによりも必要とされます。

1. 募 集 人 員

研究者養成コースは、広い視野に立って精深な学識を養い、専攻分野における研究および応用の能力を培うことを目的としています。専修コースは、高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的としています。

コ ー ス	専 攻	募 集 人 員
研究者養成コース	総合経済学	合わせて82名
専 修 コ ー ス		

注1) 募集人員には、「特別選抜」、「外国人特別選考」の募集人員も含まれます。

注2) 研究者養成コースは、博士後期課程進学を前提としたコースです。これに対して専修コースは、修士号取得をもって修了することを基本としています。博士後期課程進学要件は、両コース共に同一です。

注3) 専修コースでは、「公共政策」、「統計・ファイナンス」、「地域研究」および「医療経済」の4つの専門職業人養成プログラムに参加することもできます。このプログラムへの参加選考については入学後に説明します。

2. 出 願 資 格

つぎの各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者および平成30年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、学士の学位を授与された者および平成30年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了し、B.A.またはB.S.を取得した者および平成30年3月までに取得見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および平成30年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限り）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）によ

- り、学士の学位に相当する学位を授与された者および平成30年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第102条第2項（大学院への飛び入学）の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者および平成30年4月1日までに22歳に達する者
- (11) 所定の手続きにより、本研究科において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

注1) 出願資格(9)または(11)による志願者は、7月21日(金)までに経済学研究科事務室あてに、出願資格についてあらかじめ問い合わせてください。

注2) 出願資格(10)による志願者は、出願期間の前に個別の入学資格審査を行います。個別の入学資格審査に必要な書類等を交付しますので経済学研究科事務室まで問い合わせてください。個別の入学資格審査に必要な書類の提出期間は、7月21日(金)までとします。入学資格審査結果は7月28日(金)頃に通知する予定です。

3. 出 願 書 類

	書 類 等	提 出 者	摘 要
1	入 学 志 願 票	全 員	交付の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
2	卒業(見込)証明書等	全 員	出身大学の学長または学部長が作成したもの、または大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書、もしくは短期大学長または高等専門学校長が発行する学位授与申請(予定)証明書。 上記出願資格(3)、(4)または(6)による志願者は、取得した学位(B.A.またはB.S.等)を明記した証明書をあわせて提出してください。 ただし、卒業見込みの者は卒業見込証明書をもって、また本学卒業(見込み)の者は成績証明書をもってこれに代えます。
3	写 真 票	全 員	交付の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
4	成 績 証 明 書	全 員	出身大学の学長または学部長が作成したもの。
5	学 業 評 価 書	全 員	交付の用紙を用い、出身大学の学長、学部長または指導教員もしくはこれに準ずる者が作成し、 <u>厳封</u> したもの(日本語または英語)。ただし、志願者の研究状況や研究目標等について十分な評価をなし得る者の学業評価書をもってこれに代えることができます。
6	「TOEFL」の成績証明書	全 員	平成27(2015)年9月以降に実施された「TOEFL」の成績証明書。 (1) ETS から直接、一橋大学に公式の成績証明書が送付されるように手配してください。 <u>出願期間前必着</u> です(本学の Institution Code は0436。経済学研究科の Department code は84)。 (2) ETS から志願者本人に送付された成績証明書の写しを提出してください。 *上記(1)(2)の <u>両方</u> が必要です。 *TOEFL テスト ITP スコアの使用は認めません。
7	研 究 計 画 書	全 員	これまでの学習内容および今後の学習・研究の目的、進め方、方法等について2,000字以上3,000字以内にまとめたもの <u>3部(正本1部およびその写し2部)</u> 。A4判でワープロ等使用の場合は1ページ1,000字程度。
8	受験票送付用封筒	全 員	長形3号封筒(ハガキが入る大きさ)に、簡易書留相当分(392円)の郵便切手を貼付の上、受験票送付先の住所、氏名、郵便番号を明記してください。

9	住民票の写し（またはパスポートの写し）	外国籍を有する者	市区町村長が交付する住民票の写し（在留期間、在留資格を明記したもの）を提出してください。ただし、住民票の写しの発行が不可能な場合のみ、代わりにパスポートの写しを提出してください。
10	検 定 料 30,000円	全 員	検定料30,000円分を以下の口座へ振り込み、明細書の写しを出願書類と一緒に提出してください（原本を提出しても特に希望がなければ返却はいたしません）。 銀行名： 三井住友銀行 SWIFT Code： SMBC JP JT 支店名： 国立支店 口座名： 国立大学法人一橋大学経済学研究科検定料口 口座番号： 普通預金 7761762 なお、日本政府（文部科学省）奨学金留学生は、検定料は不要ですが、その旨を証明する所属大学発行の証明書を提出してください。

注）提出書類のうち英語以外の外国語で書かれた証明書等がある場合には、その日本語または英語訳を添付してください。

4. 出 願 方 法

- （1）研究者養成コースと専修コースとの併願は認めません。
- （2）出願者は、上記の出願書類を一括し（書類は上から上記の番号順になるように封入してください）、郵送（書留郵便）により提出してください。書類を持参しての出願は受け付けません。封筒の表面左下に「大学院出願書類在中」と朱書き、出願期間内に必着とします。ただし、出願期間を過ぎて到着したもののうち、8月2日（水）以前の消印のあるものは受け付けます。外国からの郵送は受け付けません。
- （3）出 願 期 間
平成29年7月31日（月）から8月4日（金）まで
- （4）出願書類の提出先
〒186-8601 東京都国立市中2丁目1番地 一橋大学大学院経済学研究科

5. 選 考 方 法

一次選考では、学業評価書、研究計画書、TOEFLの成績、および筆記試験の結果を総合して選抜を行います。一次選考合格者に対して二次選考を行います。二次選考では、学業評価書、研究計画書、筆記試験、および口述試験の結果を総合して合否を決定します。

6. 筆 記 試 験

筆記試験は、ミクロ・マクロ経済学、政治経済学、統計学・計量経済学、経済史の4科目から任意の1科目を選択してください。英語による解答も認めます。

- （1）筆記試験期日・科目・時間

期 日	試験科目	試 験 時 間	備 考
平成29年8月31日（木）	経済学	10:00～12:00	（1）4科目から任意の1科目を選択。 （2）マークシート式の解答用に、HまたはHBの黒鉛筆と消しゴムを持参してください。 （3）辞書の持ち込みは認めません。

- （2）試験室への入室

受験者は各試験の開始時間15分前までに試験室に入室し、指定された座席に着席してください。

(3) 試験室の発表

筆記試験の試験室は、平成29年8月30日（水）13時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。

(4) 一次選考合格者発表

平成29年9月13日（水）13時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。

7. 口 述 試 験

一次選考の合格者に対して、口述試験を行います。

(1) 口述試験期日・時間・方法

期 日	試 験 時 間	試 験 方 法
平成29年9月14日（木）	9：20～	研究計画書にもとづいて、専攻に関連する事項、およびその他について口述試験を行います。

(2) 試験室および時間割の発表

口述試験の試験室および時間割は、平成29年9月13日（水）13時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。

8. 試 験 場

東京都国立市中2丁目1番地 一橋大学

JR中央線 国立駅南口下車、南へ徒歩約10分

9. 合 格 者 発 表

平成29年9月21日（木）13時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。

なお、合格者には通知します。

10. 入 学 手 続 き

(1) 入学料の納入期間

平成30年3月2日（金）から3月8日（木）まで

この期間内に納入がない場合は、入学辞退者となります。

(2) 入学料の納入額

282,000円

注) 本学には、入学料の免除・徴収猶予の制度があるので、希望する場合は、入学料を納入せずに、学生支援課にて申請書類の交付を受けて、所定の期間内に申請を行ってください（入学料の納入後の免除・徴収猶予の申請はできません。また、申請を行っても不許可となることもありますので、入学料納入の準備は事前に十分行っておいてください）。

(3) その他

入学手続きに必要な提出書類とその提出方法については、合格者に改めて通知します。

授業料（年額535,800円）については、入学後に納入することとなります。

納入時期・納入方法については改めて通知します。

入学料・授業料の納入金額は予定額であり、この納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金額が適用されます。

11. 注 意 事 項

(1) 入学試験に関する事務は、すべて経済学研究科事務室で行います。

(2) 入学試験に関する照会は、書面、電子メール（ec-kyomu@econ.hit-u.ac.jp）または、ファックス（042

－ 5 8 0－ 8 1 9 5）で行ってください。電話による問い合わせには応じられません。

- (3) 出願後のコースの変更は認めません。
- (4) 出願書類は返却しません。既納の検定料の払い戻しは行いません。また、各種証明書は必ず原本を提出してください。複写したものは受け付けません（ただし検定料振込明細書、パスポートならびに本人用 TOEFL 成績証明書の写しを除く）。
- (5) 試験の際には必ず受験票を持参してください。
- (6) 特別選考による外国人の修士課程入学試験については、別途募集要項を配付しています。
- (7) 志願者が記入する書類は、すべて黒または青のペンまたはボールペンで記入してください。
- (8) 身体機能に障害がある人は、出願に先立ち、経済学研究科事務室に必ず申し出て相談してください。申し出を受け、本研究科において、受験時や入学後の学習に際して可能な限り配慮します。
- (9) 入学試験合格者の成績は、入学後の教育・学業支援等の目的に使用することがあります。
- (10) 出願資格に関する項目が変更される可能性がありますので、出願する前に必ず、経済学研究科のホームページをご確認ください。

※国際学生館景明館および国際学生宿舎（学生寮）について

本学国際学生館景明館および国際学生宿舎（学生寮）への入居希望者は、平成 29 年 12 月中に本学ホームページに「入居者募集要項」を公表しますので、要項に従い申請してください。

- ・国際学生館景明館（日本人学生および外国人留学生対象）、国際学生宿舎（日本人学生対象）

<http://hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html>

- ・国際学生宿舎（外国人留学生対象）

<http://international.hit-u.ac.jp/jp/curr/accom/apply.html>

受験番号	※(記入しないこと)
------	------------

平成30年度
一橋大学大学院経済学研究科修士課程入学志願票

志望研究科 専攻名		経済学研究科 総合経済学 専攻		志望コース	☐ 研究者養成コース ☐ 専修コース
氏名	(ふりがな)	男 ・ 女	出身大学	大学	
	(ローマ字)			学部 学科	
	19 年 月 日生			年 月 卒業 卒業見込	
写真貼付欄 1. 写真は最近3ヶ月以内に撮影した、正面向、上半身脱帽のもので、タテ6cm×ヨコ4cmの大きさのものを枠内に正しく貼ること。 2. 写真の裏面に志望研究科・氏名を記入すること。		国籍			
		現住所		〒 電話: e-mail:	
受験中の連絡先 (現住所と異なる場合のみ記入すること)		〒 電話: e-mail:			
研究分野(複数選択可) (具体的な研究分野をカッコ内に記入すること)		☐ ミクロ経済学〔 〕 ☐ マクロ経済学〔 〕 ☐ 政治経済学〔 〕 ☐ 統計学・計量経済学〔 〕 ☐ 経済史〔 〕			
研究題目					

(裏面に続く)

学 歴 (高等学校卒業から、ただし、外国人は小学校入学から記入すること)	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
職 歴	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	

平成30年度
一橋大学大学院修士課程
入 学 試 験 写 真 票

経済学研究科	※
--------	---

氏 名	(ふりがな)	男 ・ 女
	(ローマ字)	
	年 月 日生	

写真貼付欄

1. 写真は最近3ヶ月以内に撮影した、正面向、上半身脱帽、タテ6cm×ヨコ4cmの大きさのものを枠内に正しく貼ること。

2. 写真の裏面に志願研究科・氏名を記入すること。

経済学	※
口述	※

記入上の注意

- 1 ※印欄は記入しないこと
- 2 性別を○で囲むこと

受験番号

※

学業評価書

志願者 氏名

記入欄

今までの研究の成果、将来の研究計画、志願者について特記すべき能力など参考となる点をなるべく具体的に御記入願います。

平成 年 月 日

評価者 (大学名等)

(職 名 等)

氏 名 ④

※印は記入しないこと。

一橋大学大学院経済学研究科要覧

- 1 大学院は、一般的並びに専門的教養を基礎として、社会科学の専攻分野を究め、高い学識と研究能力を養うことによって広く文化の向上発展に寄与すること又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことにより社会に貢献することを目的及び使命とする。(学則第33条)
- 2 本学大学院経済学研究科には、下記に掲げる授業科目がある。

○コア科目

上級ミクロ経済学 中級マクロ経済学	上級マクロ経済学 中級計量経済学	上級計量経済学 上級政治経済学Ⅰ	比較経済史	中級ミクロ経済学
----------------------	---------------------	---------------------	-------	----------

○ミクロ経済学

上級ミクロ経済学 経済システム論Ⅰ・Ⅱ 国際経済政策論Ⅰ・Ⅱ 都市空間論 公共経済特論A～F 法と経済学 医療保険論 上級環境経済学Ⅰ・Ⅱ 実験経済学 開発政策論 特別講義(アジア開発金融論)	中級ミクロ経済学 ゲーム理論Ⅰ・Ⅱ 国際経済開発論Ⅰ・Ⅱ 産業地理学 Contemporary Public Policy A～F 医療経済学セミナー 医療産業論 上級資源経済学Ⅰ・Ⅱ 特別講義(Behavioral Topics) 開発途上地域論 開発援助論	上級理論経済学Ⅰ・Ⅱ 特別講義(契約と組織の経済学) 上級労働経済学Ⅰ・Ⅱ 経済立地論Ⅰ・Ⅱ 医療経済分析 健康増進政策論・医学総論 上級技術経済学Ⅰ・Ⅱ 上級開発経済学A～F 開発情報システム論 開発と環境	経済数学Ⅰ・Ⅱ 特別講義(マーケット・デザイン) 人的資源論 経済社会空間論 租税理論 医療工学概論 医療管理政策論 環境・資源経済分析A～F 比較経済発展論 産業開発論 応用ミクロ経済学A～F	数理経済学 上級国際経済学Ⅰ・Ⅱ 上級産業経済学Ⅰ・Ⅱ 公共経済学Ⅰ・Ⅱ 公共支出論A・B 医療経済論Ⅱ 保健医療活動とリスク管理 上級現代経済論Ⅰ・Ⅱ 地域開発論 開発金融論
--	--	---	---	---

○マクロ経済学

上級マクロ経済学 上級現代経済論Ⅰ・Ⅱ 特別講義(Value Investing in Asia)	中級マクロ経済学 国際通貨論	金融経済論Ⅰ(数値分析) 国際経済機構論	金融経済論Ⅱ(資産価格の実証分析) 国際経済関係論	応用マクロ経済学A～F
---	-------------------	-------------------------	------------------------------	-------------

○経済統計・計量経済・情報数理

上級計量経済学 確率・統計特論A～F 特別講義(金融工学とリスクマネジメント) 数理解析Ⅰ・Ⅱ	中級計量経済学 中級計量ファイナンス 古典解析	計量経済学特論A～F 計量ファイナンスA・B 経済データ分析論 応用数理	上級統計学Ⅰ・Ⅱ ファイナンス経済論A・B 統計調査論 比較統計システム論	確率論Ⅰ・Ⅱ 計量ファイナンス特論A～F 数理構造Ⅰ・Ⅱ
--	-------------------------------	---	--	------------------------------------

○政治経済学・経済思想

上級政治経済学Ⅰ・Ⅱ 比較経済思想	経済体制特論 移行経済論	経済システム論Ⅰ・Ⅱ 新興市場経済論	経済学史応用Ⅰ・Ⅱ 各国経済思潮A・B	比較経済システム論
----------------------	-----------------	-----------------------	------------------------	-----------

○経済史

比較経済史 東洋経済史	現代経済史 日本経済史	文明史 比較経済システム論	経済史特殊問題 比較経済発展論	西洋経済史
----------------	----------------	------------------	--------------------	-------

○地域経済

日本経済論 南アジア経済特論 地域経済各論(アメリカ) 移行経済論	地域経済論A～F 西アジア経済特論 地域経済各論(ヨーロッパ) 新興市場経済論	地域研究方法論 地域経済各論(日本) 地域経済各論(ロシア・中東欧) 各国経済思潮A・B	日本経済特論 地域経済各論(アジア・オセアニア) 地域開発論	東アジア経済特論 地域経済各論(アフリカ・中近東) 開発途上地域論
--	--	---	--------------------------------------	---

○語学・演習・ワークショップ等

Academic and Professional PresentationsⅠ・Ⅱ 演習	ワークショップ	Research-Based Academic WritingⅠ・Ⅱ リサーチ・ワークショップ	インディペンデント・スタディ	経済学研究の日本語(留学生用)
--	---------	--	----------------	-----------------

- 3 修士課程では、2年以上在学し、演習を含む所定の授業科目を履修し、別に学位論文を提出しなければならない。
- 4 博士後期課程は、3年以上在学し、演習を含む所定の授業科目を履修し、別に学位論文を提出しなければならない。
- 5 いずれの課程においても、特に優秀と認められた学生には、特例として在学期間の短縮が認められる。

平成30年度 一橋大学大学院経済学研究科担当教員一覧(予定)

〔氏名〕	〔役職〕	〔専門分野〕	〔氏名〕	〔役職〕	〔専門分野〕
阿部 修人 ABE, Naohito	教授	マクロ経済学、日本経済論、家計消費	岡部 智人 OKABE, Tomohito	講師	マクロ経済学、政治経済学
有本 寛 ARIMOTO, Yutaka	准教授	開発経済学、日本経済史、農業経済学	岡田 羊祐 OKADA, Yosuke	教授	産業組織論、競争政策、規制政策
榎本 武文 ENOMOTO, Takefumi	准教授	ルネサンス期における人文主義・修辞学、ルネサンス期における古典学研究	岡室 博之 OKAMURO, Hiroyuki	教授	産業組織論、企業経済学
深尾 京司 FUKAO, Kyoji	教授	マクロ経済学、経済発展論、国際経済学	奥田 英信 OKUDA, Hidenobu	教授	開発金融論、開発経済学
後藤 玲子 GOTOH, Reiko	教授	厚生経済学、経済思想・哲学	小塩 隆士 OSHIO, Takashi	教授	公共経済学、社会保障
橋沼 克美 HASHINUMA, Katsumi	教授	各国経済思潮・英米	大月 康弘 OTSUKI, Yasuhiro	教授	経済史、西洋中世史、地中海地域研究
服部 正純 HATTORI, Masazumi	教授	金融経済学、金融安定性	ポール ソーミック Paul, SAUMIK	准教授	構造変化、土地改革
本田 敏雄 HONDA, Toshio	教授	数理統計学、計量経済学	齊藤 誠 SAITO, Makoto	教授	マクロ経済学、金融経済学、ファイナンス理論
井伊 雅子 II, Masako	教授	医療経済学、公共経済学	笹倉 一広 SASAKURA, Kazuhiro	准教授	各国経済思潮・中国
今村 和宏 IMAMURA, Kazuhiro	准教授	日本語教授法、社会科学の日本語	佐藤 宏 SATO, Hiroshi	教授	中国経済論、中国現代史
石川 城太 ISHIKAWA, Jota	教授	国際経済学、産業組織論	佐藤 正広 SATO, Masahiro	教授	近代日本社会経済史、近代日本統計調査史
石倉 雅男 ISHIKURA, Masao	教授	政治経済学、経済学史	佐藤 主光 SATO, Motohiro	教授	財政学、公共経済学
磯部 健志 ISOBE, Takeshi	教授	数学、解析学	塩路 悦朗 SHIOJI, Etsuro	教授	マクロ経済学、日本のマクロ経済
祝迫 得夫 IWAISAKO, Tokuo	教授	ファイナンス、実証マクロ経済学	杉田 洋一 SUGITA, Yoichi	講師	国際貿易論、産業組織論
岩崎 一郎 IWASAKI, Ichiro	教授	比較経済論、移行経済論	多鹿 智哉 TAJIKA, Tomoya	講師	ゲーム理論、政治経済学、組織の経済学
陣内 了 JINNAI, Ryo	准教授	マクロ経済学、金融論	高柳 友彦 TAKAYANAGI, Tomohiko	講師	近現代日本経済史、近現代日本史
神林 龍 KAMBAYASHI, Ryo	教授	労働経済学、経済発展、法と経済学	武岡 則男 TAKEOKA, Norio	教授	意思決定理論、ミクロ経済学
加納 隆 KANO, Takashi	教授	マクロ経済学、国際金融論	竹内 幹 TAKEUCHI, Kan	准教授	公共経済学、実験経済学
北村 行伸 KITAMURA, Yukinobu	教授	応用計量経済学、ミクロ計量経済学、公共経済学	田中 万理 TANAKA, Mari	講師	開発経済学、労働経済学、国際貿易
児玉 直美 KODAMA, Naomi	准教授	日本経済論、労働経済学	富浦 英一 TOMIURA, Eiichi	教授	国際経済学、応用計量経済学、日本貿易産業論
雲 和広 KUMO, Kazuhiro	教授	移行経済論、ロシア経済論	友部 謙一 TOMOBE, Kenichi	教授	日本経済史近世以降、歴史人口学
黒崎 卓 KUROSAKI, Takashi	教授	開発経済学、農業経済学、アジア経済論	津田 照久 TSUDA, Teruhisa	教授	数学、複素領域の微分方程式
黒住 英司 KUROZUMI, Eiji	教授	時系列分析、計量経済学	都留 康 TSURU, Tsuyoshi	教授	人事経済学、人的資源論
桑名 陽一 KUWANA, Yoichi	准教授	数理統計学、応用確率論	植杉 威一郎 UESUGI, Iichiro	教授	企業金融、中小企業、日本経済
馬 欣欣 MA, Xinxin	准教授	中国経済論、労働経済学	宇井 貴志 UI, Takashi	教授	ミクロ経済学、ゲーム理論
マクレラン フィリップ MACLELLAN, Philip	准教授	第二言語習得、状況的学習論、ケーススタディの方法論	宇南山 卓 UNAYAMA, Takashi	准教授	日本経済論、応用計量経済学
真野 裕吉 MANO, Yukichi	講師	開発経済学、地域経済学	臼井 恵美子 USUI, Emiko	准教授	労働経済学、応用計量経済学
丸 健 MARU, Takeshi	講師	農業経済学、開発経済学	渡辺 智之 WATANABE, Satoshi	教授	財政学、租税法、法と経済学
増田 一八 MASUDA, Kazuya	講師	開発経済学、教育経済学、医療経済学	渡部 敏明 WATANABE, Toshiaki	教授	計量ファイナンス、マクロ計量分析
南 裕子 MINAMI, Yuko	准教授	現代中国社会論、地域社会学	伍 曉鷹 WU, Harry Xiaoying	教授	開発経済学、計画経済論、中国経済論
森 啓明 MORI, Hiroaki	講師	労働経済学	山田 俊皓 YAMADA, Toshihiro	講師	確率数値解析、ファイナンス数学
森 宜人 MORI, Takahito	准教授	西洋経済史、ヨーロッパ都市史	山本 庸平 YAMAMOTO, Yohei	教授	計量経済学、マクロ経済分析、国際金融
森口 千晶 MORIGUCHI, Chiaki	教授	比較経済史、比較制度分析、家族の経済学	山重 慎二 YAMASHIGE, Shinji	教授	財政学、公共経済学、社会政策
中山 能力 NAKAYAMA, Chikara	教授	数学、代数学	山下 英俊 YAMASHITA, Hidetoshi	准教授	環境・資源経済学、廃棄物政策、エネルギー政策
西出 勝正 NISHIDE, Katsumasa	教授	金融工学、金融経済学	柳 貴英 YANAGI, Takahide	講師	計量経済学、数理統計学
小島 健 OJIMA, Takeshi	講師	マクロ経済学、行動経済学	横山 泉 YOKOYAMA, Izumi	講師	労働経済学、応用計量経済学

○教員の詳細については、以下ウェブページを参照してください。

<https://hri.ad.hit-u.ac.jp>